研究発表

1日延長学習の実際とその評価

兵庫県西宮市立塩瀬中学校教諭　山城　真

山城　真教諭

日常の教育活動を生かした本校の校外学習

1、西宮市及び本校での校外学習の歩み

文部省は本年度より自然教室推進事業を始めた。その趣旨は美しい自然環境の中での集団宿泊訓練を通じて、心身ともに調和のとれた児童生徒の育成をめざすとしているが、西宮市でも同様な趣旨で昭和四十一年度より転地学習の候補地探しが行われた。

転地学習に適した施設として兵庫県市島町立竹山中学校の廃校のあとを、西宮市立市島学園として、全市的立場で転地学習の場とした。本校では一年は転地学習、二年は野外活動、三年は修学旅行とし、一貫した校外学習として位置づけている。そして、二年前に校外学習を見直した結果、一年の転地学習の充実を期し、従来より一日のばし三泊四日とした。

2、校外学習の目標

西宮市では四十六年の市島学園発足以来以下の四項目を転地学習の目標と定めている。

(1)子どもを大自然にかえす。（心身ともに健全な人間を育成する）

(2)自主・協同生活の場を与える。（共同・忍耐・奉仕の心を養う）

(3)人間的なふれあいを経験させる。（豊かな人間関係・道徳性を助長する）

(4)転地学習をさせる。（夏の学力の定着とその向上をはかる）

日常の学校の生活現場から離れ、より理想的な学習の場を設定することは新しい時代の要請に応える学校教育のもつ大きな課題でもある。

3、本校での三ヵ年間を見通した校外学習

(1)一年の転地学習

入学時のオリエンテーションと位置づけている。日常的にとり組んでいる全校マラソン・合唱・小集団活動を定着させる好機会とする。小集団活動は三ヵ年の学校生活の基本となるので、三泊四日は班行動で生活する。

(2)二年の野外学習

キャンプ学習であり、一年で身につけた班活動をより自律的に行うよう計画している。生徒の実行委員会が、よりよい自主活動をめざし組織される。

(3)三年の修学旅行

雄大な自然環境の中での生活が必須の条件である。入学以来の全校マラソン・合唱・小集団活動を集大成する場である。

4、一年転地学習の目標

(1)小集団を生かし、意欲的な活動をたかめる。

(2)生徒相互よく知り合い、信頼感を深める。

(3)マラソン・合唱の歴史を学び意欲を高める。

(4)約束事を大切に、一人ひとりが確実に守り通すように。

5、日常の教育活動

合唱は終学活が終ると始まり、日常の重要な教育活動として毎日続いている。転地学習の夕べのつどい、マラソンと同様。

6、一年の転地学習事前指導

日常の教育活動をそのまま生かした転地学習であり、事前指導は殆んど必要がない。ただ生徒が何れかの係になるよう学年を五つの係に編成し、実行委員会（立候補制）を組織した。

7、転地学習の日程と活動内容

(1)小集団活動について

班活動を中心に小集団活動にとりくんでいる。バズ学習をめざし、三年になってのバズ学習（助け合い学習）の実りを期す。

(2)マラソンについて

授業が終了すると三分間でグランドに集合し、十五分間マラソンを全校でとりくむ。転地学習の夕べのつどいに、スライドを見ながら生徒自身によるナレーションで意欲を高める。

(3)合唱について

別表（四面）

8、転地学習活動内容例

(1)オリエンテーリングについて

ポイントオリエンテーリングを行った。歩行距離合計二十五キロ、平均所要時間七時間半とした。八時間半以内で全員二百八十二名が完歩した。

(2)班づくりについて

転地学習最大のねらいである。入学以来、仮の班（出席順）での生活の問題意識、転地学習での体験等が班編成のよりどころとなる。

(3)班新聞づくり

新しい班が誕生した後、その具体的行動として、「全員集中作業」型式の班新聞づくりがある。単純作業を増やす工夫がなされている。

9、転地学習事後指導

(1)感想文について

転地学習が終って、最初に登校した日、全員に感想文をかかせる。この中から事後指導の材料をも選び出す。

②一人一作品と学年発表会

転地学習で習得したこと、心に残ったことを文化活動で表現する。全員が一作品提出するよう指導する。この作品をもとに学級展示、学年展示、学年発表会へと発展する。

10、まとめ

日常の教育活動を生かした校外学習にとり組んできたが、未だ積み残した課題も多い。しかしこのとり組みの中で生徒の表情が生き生きとしてきた。最近の学校生活全体が安定してきた。修学旅行や野外活動では、生徒指導上の問題に対処するエネルギーがあまりにも大で、本来の教育目標達成から遠ざかっている。この点からも宿泊を伴なう校外学習をいかにして日常の教育活動に結びつけるかが大きな課題である。

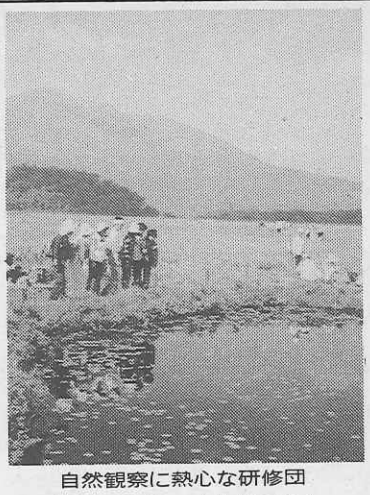
本校では二泊三日の転地学習を三泊四日に変えたのは、小集団活動や合唱、マラソンなどの日常の教育活動を生かす為に、どうしても中二日を必要としたからである。実践するまでには不安材料も多かったが、いざ取り組んでみると、二泊三日では得ることのできない教育的効果を上げることができ、「さらにもう一日」の声もあった。一層実践研究を深めて、新しい時代に応じたい。

あこがれの地を求め

夏の研修旅行はじまる

―36コース・61団の編成

全修協の全国教職員研修旅行（教育研修企画主催）は七月二十三日の第一団を皮きりに、八月二十七日迄、三十六コース六十一団の編成で出発する。教職員を対象とする研修旅行にふさわしく、各地で学識経験者、郷土史研究家など専門の講師陣による講演・見学解説など多彩な研修内容を設定し、教職員の自己研修としての「研究」と「修養」を行う。


自然観察に熱心な研修団
（写真コンクール作品から）

今季の人気コースは、尾瀬コース、大台ヶ原コースなど自然に触れる企画に人気が集中している。実施各コースは次の通り。

北海道方面＝一周ワイド、デラックス、ハイライト、北海道一周、利尻・礼文コース、東北方面＝恐山と津軽・弘前、東北三大祭、四大祭、奥の細道、佐渡・磐梯コース、関東・甲信越方面＝尾瀬、佐渡コース、中部・北陸方面＝黒部・上高地、黒部能登、志賀・蓼科コース、東海・関西方面＝奥三河、京都、若狭、南紀・熊野、大台ヶ原コース、山陰・山陽方面＝山陰、芸予諸島、四国、九州の各コース。

会長に宮嶋　明氏を選出

本年度　関修委総会ひらく

関東地区公立中学校修学旅行委員会（高藤常松会長）では、六月二十二日群馬県において本年度総会を開催した。

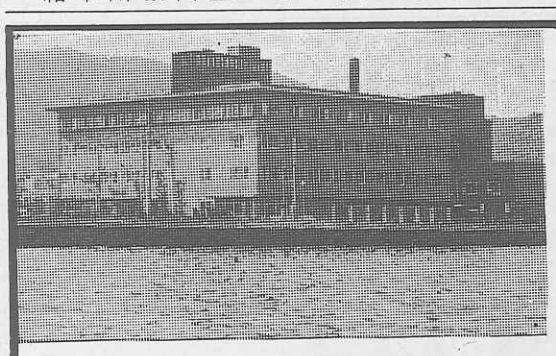
会長および㈶全修協山本理事長の挨拶、来賓として群馬県横川端経男氏の祝辞のあと、五十八年度会務、決算、監査の報告があり、引き続いて五十九年度役員の選出、五十九年度事業計画、予算、六十年度輸送計画の修正、六十一年度輸送計画、ガイドブック「東北の旅」作成、東北方面現地研修会、研究発表会、三地区修旅連合委員会総会開催等について協議し、いずれも承認された。

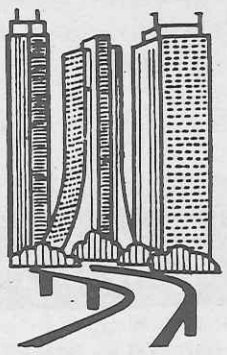
六十年度輸送計画は、関西の復路および東北新幹線にそれぞれ専用臨時列車が設定されることによる修正、六十一年度輸送計画は、六十年度の計画に準ずる前提で各学校の希望を県毎に調査・集計することとした。東北方面現地研修会は八月八日から十日まで、三陸海岸・遠野・平泉等へ、体験学習を含む東北新幹線利用の新しいコースで実施することとし、研究発表会は来年一月、群馬県で開催することを決めた。

本年度の役員および委員はつぎのとおり（各中学校長、敬称略）

会長＝宮嶋明（茨城・水戸二中）副会長＝小林久美（群馬・前橋五中）島方幸男（栃木・旭中）田村裕（埼玉・本庄西中）田中秀治（千葉・葛城中）　運営委員長＝高橋尹敏（埼玉・喜沢中）運営副委員長＝稲葉幸雄（千葉・白井中）　事務局長＝飯村進（茨城・水戸一中）　会計委員＝滝田潔（栃木・清原中）糸賀英一（㈶全修協修学旅行部長）監事＝岡部栄三（群馬・沼田西中）飯田武雄（埼玉・本庄南中）顧問＝山本種一（㈶全修協理事長）　参与＝白滝末紀（同・専務理事）　事務主幹＝糸賀英一（同修学旅行部長）

運営委員＝《群馬県》荻野明正（新治中）荒木実（渋川北中）福原昭（中之条四中）、《栃木県》片山悦男（宝木中）室田廣三（足利西中）舘野敬（間々田中）石川和助（中村中）、《茨城県》會沢三男（水戸四中）山高洋太郎（古河一中）田所務（助川中）松本秀夫（土浦四中）《埼玉県》澤田克郎（加治中）神田亮（加須北中）山口明（篠津中）大山茂（北坂戸中）大野養平（都幾川中）金子昭四郎（志木二中）平田幸平（泰平中）永山忠夫（上青木中）野口正（皆野中）内田宗治（荒川中）、《千葉県》篠塚晴雄（栗源中）藤野正治（市川一中）北川博（小金中）川村幸雄（手賀中）《全修協》中島和友（総務部長）。


いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　６００名様
浴場　１５０名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321

首都東京を見て、何かを！

学校単位の貸切りで
ご利用下さい
30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4－36－3 TEL 03－813－9381

防炎布団リース
●御指導先
京都市消防局
近畿日本ツーリスト㈱
販売もいたします。
防炎寝具製造認定工場
ムラタ寝具工業所
〒６１２　営業所　京都市伏見区京町５丁目77－７　☎075(601)5371(代)
〒610-01　工　場　京都府城陽市観音堂甲畑57　☎07745(2)０１９１

防炎寝具で安全のサービスを！
安全は防炎寝具から
ふとん類の着火原因で、全国3497件の火災が発生しています。
防炎製品　認定番号
防炎製品認定委員会
財団法人　日本防炎協会
※防炎寝具類にはこのラベルがついています。
●防炎製品のお問い合せは
財団法人　日本防炎協会
〒103 東京都中央区日本橋本町４－１　石川ビル（２Ｆ）
電話　03－246－１６６１

資料

自然教室（転地学習）の学習活動

＝西宮市立塩瀬中の実際＝

第1日（59・5・21）

時間　日程と活動内容

8：30　生徒集合完了（グランド）
1、人員点呼
2、健康観察
3、学年主任挨拶
4、諸注意
5、用便・薬服用
9：00　バス乗車（乗車確認）
9：10　学校出発
10：30　トイレ休憩
11：40　市島学園到着
全体集合（グランド）
1、人員点呼
2、諸注意
12：00　昼食（弁当）
あとしまつ
12：40　開園式（グランド）
1、校歌斉唱（校旗掲揚）
2、園長紹介挨拶
3、団長の話
4、生徒代表挨拶
5、学級目標発表（各学級委員長）
6、諸注意
13：10　入室・更衣（身辺整理）
13：40　全体集合（体育館）
1、寝具の取りあつかい方について
2、学園使用上の注意
3、その他伝達
14：00　学級活動
1、スタンツ練習
2、学級レクリエーション
3、散策（など）
15：00　器材係集合
飯盒・ブロック・鉄棒・マキなどの分配
15：30　飯盒すいさん開始（食事）
17：30　器材返却（あとかたづけ）（残飯の処理）
18：00　入浴開始
〈キャンプファイヤー準備〉
19：30　キャンプファイヤー
1、全員入場
2、営火のことば
3、営火長入場
4、火の神入場
5、点火のことば
6、点火　歌「もえろよもえろ」
7、学級別スタンツ
8、誓いのことば
9、営火長のことば
10、全員斉唱「一日の幸」
11、全員退場
20：50　学活部屋入室（トイレ他）
21：00　学級活動
1、一日をふり返って
2、明日の日程確認
21：20　就寝準備・更衣
21：50　点呼
22：00　消灯

第2日（5・22）

時間　日程と活動内容

6：00　起床
1、洗面・用便
2、寝具のかたづけ
3、清掃
6：40　朝のつどい（グランド）
1、挨拶
2、係からの連絡
3、日程説明
4、塩中体操・マラソン
7：10　朝食準備（お茶の配給）
7：25　朝食
7：40　あとかたづけ
8：00　全体集合
1、点呼
2、オリエンテーリングの説明と注意
3、諸注意
8：25　オリエンテーリング（班単位で出発）
←（昼食）←
（ゴール）
ゴールした班より牛乳配給・入浴開始
18：00　夕食準備
18：20　夕食
18：40　あとかたづけ
19：30　夕べのつどい（体育館）
1、開会のことば
2、合唱の歴史（スライド）
3、学級合唱発表
4、学年合唱
5、マラソンの歴史（スライド）
6、誓いのことば
7、閉会のことば
20：40　学級活動
1、二日間をふり返って
2、明日の日程確認
21：00　就寝準備・更衣
21：20　点呼
21：30　消灯

第3日（5・23）

時間　日程と活動内容

6：30　起床
1、洗面・用便
2、寝具のかたづけ
3、清掃
7：10　朝のつどい
1、挨拶
2、係からの連絡
3、日程説明
4、塩中体操・マラソン
7：40　朝食準備（お茶の配給）
7：55　朝食
8：10　あとかたづけ
8：40　学級活動
1、班決定
2、班目標決定
3、班新聞編集会議
11：00　全体集合（グランド）
1、点呼
2、移動
3、フォークダンス
12：00　昼食準備
12：15　昼食
12：30　あとかたづけ
13：00　学級活動
1、班新聞づくり（完成）
15：30　学級自由時間
石像寺散策、学級レクリエーション
17：00　入浴開始
18：10　夕食準備
18：25　夕食
18：45　あとかたづけ
19：20　学級活動
1、班新聞展示（評価）
2、三日間での発見
3、これからの学校生活における学級の努力事項について
21：30　就寝準備・更衣
21：50　点呼
22：00　消灯

第4日（5・24）

時間　日程と活動内容

6：00　起床
1、洗面・用便
2、寝具のかたづけ
3、清掃
6：50　朝のつどい
1、挨拶
2、係からの連絡
3、日程説明
4、塩中体操・マラソン
7：20　朝食準備
7：35　朝食
7：50　あとかたづけ
8：30　学年学活（体育館）
1、点呼
2、各クラスの三日間の成果発表
3、これからの学校生活における学級の努力事項の発表
9：40　奉仕作業準備
9：50　奉仕作業（学級別割当て）
10：50　昼食準備
11：10　昼食
11：30　あとかたづけ
12：00　帰校準備
12：10　全体集合（グランド）
閉園式
1、園長挨拶
2、団長の話
3、生徒代表挨拶
4、校歌斉唱（校旗降納）
5、諸注意
12：40　バス乗車（乗車確認）
12：50　バス出発（トイレ休憩）
13：30　バス帰校
全体集合（グランド）
1、点呼
2、健康観察
3、学年主任挨拶
4、連絡・諸注意
15：50　解散

59・6月　教育界のうごきから

臨教審法案をめぐる動き

政府・自民党は、26日、衆院内閣委員会で審議中の「臨時教育審議会設置法案」を7月10日に委員会採択する方針を決めた。

この法案は中曽根首相が提唱した教育改革の第一弾、今国会の重要法案、その早期成立を求めて法案の一部修正を条件に、野党側と折衝に入ることにした。

修正内容はこれまでの非公式折衝で、①臨教審委員の任命は、国会の同意を必要とする②臨教審は、首相に提出した答申、意見を国会に報告する。とする方向で固まった。

この法案に、社会、共産両党が反対、慎重審議を求め、公明、民社は修正されれば賛成するとみられる。

高校の職業教育を弾力化・多様化
文相の諮問機関「審議会」が提言

社会の変化に対応した職業教育のあり方を検討している理科教育産業教育審議会（文相の諮問機関）は、25日①電子機械科、国際経済科、福祉科など時代の要請に応じた学科を新設する②学科間の枠を超えて科目の履修ができるよう教育課程を多様化する③複数の学科を置く集合型職業高校の設置を推進するなどを柱とする報告書をまとめ発表した。今後、各界の意見や臨教審の審議状況を参考にして年末まで答申をまとめ文相に提出する。

教育費、家計の2割も、東京都

東京都が6月28日までにまとめた調査で、家計に重くのしかかる教育費の実態が明らかとなった。それによると、学校から学習塾、けいこごとまで、わが子にかける教育費用は一世帯平均月額6万3000円にもなり、家計費全体の2割強を占め、2年前の調査と比べ8000円近くふえており、家庭は重い負担に耐えていることがわかった。

公立高入試を多様化・文部省指導へ

偏差値による進路振り分けなど高校入試の多くの問題点の全面的な見直しを進めてきた文部省の入試改善検討会議（座長・木田　宏国立教育研究所長）は、22日その骨子をまとめた。それによると、各都道府県ごとに、同一時期に同一出題で一律に実施している公立高の入試方法を抜本的に改めるもので、この線に沿っての今後の文部省の指導、全国的な改善の動きが期待される。

日教組第60回定期大会沖縄で
1984年度運動方針など決定

6月18日から4日間、日教組の本年度大会が開かれ、40人学級の早期実現などを求めた運動方針を決定した。臨教審法案には「教育基本法違反」の見解で反対姿勢を貫いたが、不参加修正案は否決するという柔軟姿勢をみせた。

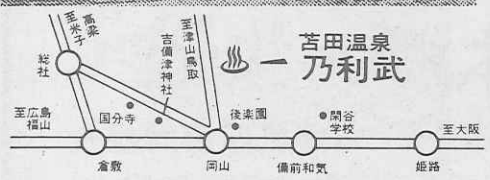
夏休み映画会

交通博物館

交通博物館では、夏休みのりもの映画会として下記の通り上映する。▽冒険時代（20分）一九二〇年代までの自動車を紹介▽江戸時代の川と海の交通（20分）＝最上川の舟運、河口港酒田を中心とした千石船に焦点をあて水上交通の役割を紹介▽レオナルド・ダ・ビンチ（11分）＝芸術家、科学者としての物語をアニメーションで紹介。▽期間＝7月31日～8月15日・3階映画ホール▽時間＝平日14時、日曜11時、13時、15時▽休館＝月曜日。

山陽路 岡山のお宿

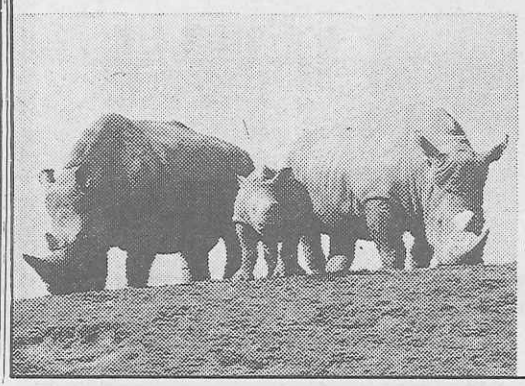
10,000坪の庭園を擁し、おもちつき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)
昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承わります。



■岡山駅より車で15分・バス25分。■中国自動車道、津山インターより45分。

政府登録国際観光旅館
とまだ苦田温泉乃利武
〒701－11　岡山市栢谷1453
☎086294－2321　TELEX. 5922－621

育てる心は、みんな同じ。



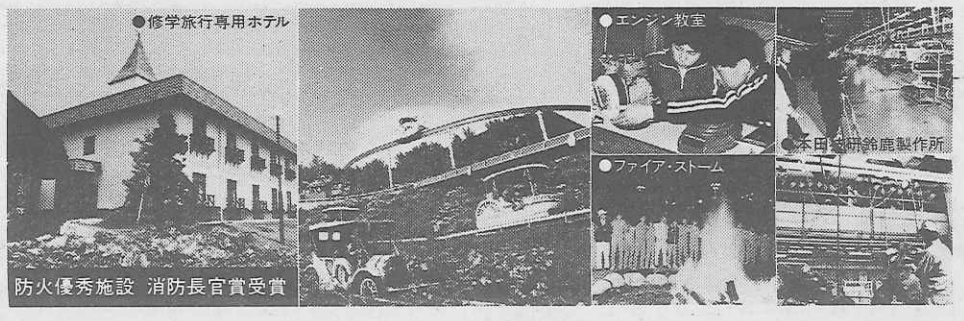
●営業時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金　高校生 1,000円
中学生 700円、小学生　600円

別府あじむ草原
AFRICAN SAFARI アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（09784）8－2331代

「今日」に触れ、学び、修める、モートピア体験。

興味こそ学びの原点。モータリゼーションへの興味を通して、若者のこころに語りかける有意義な修学旅行が、多くのご支持をいただいています。

エンジン教室、工場見学、実際に運転できるのりもの…。ゆたかな自然のなかで、触れて、確かめて、楽しみながら理解する。それがモートピアでの修学旅行です。鈴鹿サーキット、多摩テックには、そんな意義深い体験を快適なものにする施設がいろいろ。リラックスできる専用ホテルでのお食事や、キャンプ場での野外炊飯をはじめ、旅の夜を彩るファイア・ストームの解放感に、忘れ難い思い出がつくられることでしょう。



防火優秀施設　消防長官賞受賞

陽気なビッグ・レジャーランド
鈴鹿サーキット
〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992／☎(0593)78-1111
●名古屋または大阪より近鉄特急白子駅下車直通バス
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離。
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

緑のモートピア
多摩テック
〒191 東京都日野市程久保1／☎(0425)91-0820
●京王線多摩動物公園駅下車直通バス

ご視察のお申し込み、資料ご請求は…
株式会社ホンダランド
名古屋営業所/修学旅行課：〒450 名古屋市中村区名駅3-12-12
竹生ビル☎(052)571-7176
本社/東京営業所：〒104 東京都中央区八重洲2-6-20
ホンダ八重洲ビル☎(03)274-5821
大阪営業所：〒530 大阪市北区芝田2-6-30
梅田清和ビル2F ☎(06)372-1526